

回 覧

平成 26 年度 学術部発 20 号

岐臨技会員・賛助会員 各位

(一社)岐阜県臨床検査技師会
会 長 兼子 徹 <公印略>
学術部 浅野 敦
臨床検査総合部門長 森 さゆり

平成 26 年度 岐臨技研修会のご案内 9月(1)

<臨床検査総合部門研修会>

日 時 : 平成 26 年 10 月 18 日 (土) 14:00 ~ 16:00

場 所 : [岐阜中央病院](#) 5階 大会議室

内 容 : 「日臨技の今を知る！」(仮題)
講師: 日臨技 専務理事 横地 常広 先生

駐車場 : 東側及び西側(西中学西側) 無料駐車場ご利用下さい。

参加費 : 岐臨技会員は無料です。県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、
非会員は 2,000 円を資料代として徴収し領収書を発行します。

この研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には基礎教科(20点)として認定されます。研修会参加者は会員カードをご持参下さい。

本研修会は「日本糖尿病療養指導士のための学会」として
医療職研修<第1群>糖尿病療養指導研修単位 0.5 単位が認定されます



連絡先 岐阜中央病院 臨床検査課 森 さゆり (210416)
TEL 058-239-8111 (2860)

携帯学術カレンダー

外部講師における講演研修会の目的

JAMT7月号をお読みにになりましたか？16ページ・17ページに宮島会長の定期総会での挨拶文が掲載されていました。日臨技のホームページにも色々な情報が出ています。そこで、今回の研修会の目的は、この数年、大きく変化してきている「日臨技の今を知る」ことです。

チーム医療推進に関する「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成」の全国一斉に講習会が企画開催されます。「検体採取に関する臨床検査技師等の法律改正」に伴う講習会も開催する予定になっています。臨床検査技術を学ぶセミナーや研修会が開催され、国民に向けての広報誌も発刊されています。

次々と情報が流れてくるけれど、自分の施設に関係あるの？自分自身に関わる事？今後、どの様に変化し、どの様な方向に向かっていくのか？良くわかりませんよね。少子・高齢化の社会にむけて、医療から介護にシフトしていく中で、施設の中で、個人として知りたいけど時間もないし、学会参加なんて厳しい。学会誌も自分の専門分野はちょっと読むけど、レベル高くて日常検査にはとても・・・

というわけで、日臨技の専務理事の先生に岐阜に来てお話してもらいます。講演を聞くだけでなく、いろいろ質問して「日臨技の今を知る！」チャンスです。管理職の皆さん、新人の方から指導されている経験豊富な皆さん、さらに技師会を支えてくださる賛助会員の皆さんも是非参加ください。

講演略歴

横地常広先生

略歴

平成26年・27年度 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 専務理事

平成24年・25年は日臨技理事として中部圏支部長、学術部門では支部研修マニュアル作成、認定センター、総務委員会の中心にご活躍され、ご指導いただいています。